

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 12月 19日

130 養 蚕

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) SERICULTURE	(男) 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 養 蚕	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): PHILIPPINE TEXTILE RESEARCH INSTITUTE

(日本語): フィリピン織物研究所

2. 隊員勤務先名称: SERICULTURE RESEARCH & DEVELOPMENT PROJECT

所在地: ラトリ=ダット, ベンゲット州 日本語名称 (養蚕開発研究所) 主要都市からの距離 (マニラより7キロ)

3. 事業規模及び内容: フィリピン織物研究所は工業省管轄下の織物・繊維に関する研究機関で、約40人の研究(専門)者および30人の事務官を有しており、本部はマニラにある。ラトリ=ダットの養蚕開発研究所は11名の研究者を持つ。

4. 設備概要: 研究および業務上必要の他、印からマニラまでの航空機およびこれに関係する必要設備は一通りそろえている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は、ラトリ=ダットにある養蚕開発研究所の研究員としての業務に従事する。主な研究対象はカイコの卵生産および交配である。

① 隊員の業務上の地位: 研究所の研究員

② 技術の範囲: 養蚕一般についての知識を有し、カイコの卵生産からマニラまでについて詳しいことが望ましい。

③ 業務の形態: 研究所に勤務し他の研究員と協力して研究プロジェクトを作成しそれを実際の研究対象として実施する。

④ からのパート: カラ=パートは研究所の研究員

⑤ 現地で利用できる材料: カイコの卵生産からマニラに至るまでに必要な材料は一通りそろえている。

⑥ 職場におけるオウ国人及び日本専門家の配置状況: オウ国人は11名、11名の研究員のうち2名が日本で研修したことがあり、現在1名が日本(熊本)で研修中。かつて同研究所には輸出隊員08(50/4月~53/4月)が短期勤務したことがある。

⑦ 使用する言語: 英語, 他カ/語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピン政府は軽工業としての繊維関連産業の育成に力を入れている。織物研究所はこの背景の下で本年7月から工業省の管轄下に転じ、S.D.A. (以前は National Science Development Board の管轄下) 織物研究所は、アパレル、繊維、繊維機械などに関する研究の促進と、繊維産業には特に力を入れている。輸出隊員を日本に輸出している。研究対象のカイコは日本産品種、中国産品種。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

養蚕に関する一般的知識を有していること。○必要
大半1~2年 高卒 5~10年の実務経験があること。○望ましい。
特別に取得資格を必要としない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 3 月 30 日

130 養 蚕

調査者氏名 山口孝一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Sericultural Promotion Project (日本語) 養 蚕	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): The Department of Accelerated Rural Development, The Ministry of Interior (日本語): 内務省地方開発促進課 ;					
② 隊員勤務先名称: Chief of ARD Changwat 日本語名称() 所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: (1) 農民組織化の促進 (2) 新しい養蚕技術の勧誘 (3) 養蚕場の管理					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 普及員 (The Extension officer)					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 養蚕技術の助言					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: (ARD Changwat で調達する)					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 養蚕農家に現金収入の機会をよめる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学士 ; 圃場管理に1~3年の経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

131 家畜飼育

記入昭和 54 年 9 月 14 日

調査者氏名 神谷 弘 司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (A.I.)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育 (人工授精)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)
(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: National Artificial Breeding Center (NABC) (国立人工授精所)
所在地: Alabang, Muntinlupa, Metro Manila (主要都市からの距離 (マニラ) より 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 畜産局傘下により輸入凍結精液 (液体窒素冷害) の地方発送, 国内製凍結精液の製造及び発送, 現地人工授精師への研修等を実施している。
年度予算規模 125万P (360万円), 正職員 16 名, 臨時職員 2 名。

ニ. 設備概要: 約 80ha の土地に雄牛牛舎 (採精用), 雌牛牛舎 (約 20 頭, 雌牛を人工授精研修用), 80sqm 規模長方体サイロ (飼料用) 1 基, ホップ・メロン植栽地 (飼料用) あり。

(2) 隊員の業務内容: 現在精液採取用雄牛はミュー種水牛 2 頭, ホルスタイン 1 頭, レッドグーアマン 1 頭, ウェルシュブルグマン (輸入精液) 2 頭, ミュー種若雄水牛 (現在訓練中) 3 頭いる。週 3 回の頻度で行なう凍結精液製造リサイクルとして ① NABC (主に水牛から), ② 畜産局と契約している個人大牧場 アンダーパー 4 (肉用牛), ③ フィリピン唯一の乳用牛大牧場 マグリフファームでの凍結精液製造に携わる。又, 将来日本式ストロー式の凍結精液に移行する予定であり, 其の研究普及, 必要機材の調達に任務を負う。その他に年に 3 回 ~ 4 回 1 カ月間の期間で実施されている現地人工授精師に対する研修の教官としての任務もある。

- ① 隊員の業務上の地位: 技術指導員。
- ② 技術の範囲: P-YLV 式, ストロー式凍結精液製造に関する技術。人工授精教官として早期妊娠鑑定から分娩までの鑑定技術。
- ③ 業務の形態: 凍結精液製造においては他の職員と一緒に仕事しながら, 自らは一歩リードしている。しかしリードを教える形態をとりながら, 相手に教えられるという印象を与えるは避けられない。

- ④ 対象者及びボランティア: 大卒者で人工授精フィールド歴 3 年以上, 外国研修 (6 ヶ月) の経験あり。
- ⑤ 現地で利用可能な機材: 精液低温処理装置 (HMK, ストロー用 4 密式), 液体窒素タンク。その他人工授精用器具, ゴキ手袋, ポリ手袋等あり。
- ⑥ 職場における外国人等: なし。⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 畜産博覧会 (27 隊員, 家畜人工授精) の交替申請。徐々に発展している人工授精プログラムの促進に寄与するこれが期待されている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒者で実務経験 3 年以上。② 人工授精フィールド歴 1 年以上。
 - 3. 可能であれば獣医師か, 又凍結精液製造に携わった経験のある人で, 最低年齢 30 歳以上。
 - 4. 海外生活レポート提出が頻繁にあること, かつそれらが評価されること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年11月27日

131 家畜飼育

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育(教師)	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限5年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture
(日本語): 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Agricultural Vocational School (日本語名称) (農業職業訓練学校)
所在地: Timbang Menggaris kata Belud SABAH 主要都市からの距離 (30kmより32キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1970年1月に農試に開設。1974年5月ニエーゼーランドの支援により

現在地に校舎設立。校舎 敷地 2,998 エーカ - 内 1,000 エーカ - 用がすみ。全生徒

数 150人。3年制コース。先生数 10人。職員 16人。フルタイム 20人。牛 400。羊 27。山羊 20

ニ. 設備概要: 全寮寄宿制度。実験室。実験機材。トラクター各種。アタッチメント各種。各種農具。教室。圃場。放牧場。水道。電気。その他学校施設 (写真参照の事)

(2) 隊員の業務内容:

①地位: 家畜飼育教師

②技術の範囲: 1. 2年生及び3年生 (17名~18名) の生徒に対する家畜飼育に関する授業及び実習の指導 (別添カリキュラム参照)

③業務の形態: 2. 動物化学及び家畜飼育関係セミナーの指導。主務的な業務

ハ. F1 (ハイブリッド) の羊及び山羊に対する牧草の研究

ニ. 学校内における家畜及び牧場等の適当な開発及び運営について校長に対する助言 (例えば乳牛飼育の可能性等について) (学校は園芸コース。家政コース。畜産コースがある)

④カウンターパート: 特指定められたくないが、フルタイムマネージャー (29名) 及び校長 (35名) 等に対する業務運営上の支援 (助言)

(実験用機材)

⑤機材: トラクター (700cc. 60HP. 7本タ (12.5x15.5x11)) 各種アタッチメント。その他必要農機具は予備している (写真参照の事)

⑥外国人: 現在なし

⑦使用言語: 英語 (授業は英語で行われている。マレー語の基礎を自習してきた)

→ 分かる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業職業訓練学校とし、家畜及び牧場等の施設はあるが、その理論と実務を指導し、よく先生がいなくて授業が進まない。農家の子弟に対して家畜飼育の授業と実務を指導し、且、学校業務の進行及び運営に助言と必要の支援を、してゆく必要がある人物の期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①主に家畜飼育を主とする農業を専攻した大学卒業生で、教師の経験がある。家畜関係の実務経験の畜産者であれば大変都合が良い。

2. 英語で授業の出来る能力のある人

3. 絶対条件ではないが、人工授精の経験がある人であればベターである。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 3 月 30 日

141 家畜飼育

調査者氏名

山口 孝一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Dairy Science / Dairy Plant (日本語) 家畜飼育(酪農)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Dept. of Vocational Education, Ministry of Education (日本語): 文部省 職業教育局					
② 隊員勤務先名称: 農業大学校 (Chumporn, Rachaburi, Petchaburi, Lopburi, Tak, Cheingrai, Khonkaen, Sukhothai) 日本語名称() 所在地: buri, Lopburi, Tak, Cheingrai, Khonkaen, Sukhothai 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: (1) 酪農学を週に10時間教授する。 (2) 酪農プロジェクトの計画, 実行, 運営等に参加する。 (3) 各種の農民に対する農業指導に対する協力					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学校に協力して酪農学, 酪農プロジェクト, 牧場の教育, 運営管理の円滑化; 大学が農民に対して実施する農業コースにも協力する。隊員はカウンターパートに業務を通い専門分野を教授する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
農学士(家畜飼育学) 酪農で3年の実務経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

142 養 鶏

記入昭和 56 年 10 月 日

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	Poultry Farming 養 鶏	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Rubber Industry Smallholders Development Authority
(日本語): 小規模の農家開発局 (CRISDA)
- ロ. 隊員勤務先名称: Risa Training Institute 日本語名称 (リスダ訓練所)
所在地: Mentakab (バンタン州) 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 1952年小規模の農家を保護し、経営改善のため設立された。この目的を達成し、指導、野果栽培の指導、農家子弟の教育、職業訓練の他に農家の生活改善、経済向上に努めている。全下農家は約50万世帯、そのうち6000人。
- ニ. 設備概要: 教室1、職員室1、訓練生宿舎2、学習場、鶏舎等
30人の訓練生を収容できる。

(2) 隊員の業務内容:

小規模の農家栽培農家及びその子弟(18~21才)に対し養鶏全般についての技術指導を行う。(現在、履習期間9週間、その後スラバワ州の養鶏場にて1か月の研修制度がある)

カウンターパートに付く。Instructorは Institute、農業省、Risdaの研修等約4年近く農業について学んでいるが、養鶏については専門的に学んだわけではない。その指導も隊員の業務である。

隊員は養鶏の他、野菜栽培等他の農業技術についても指導できることを期待されている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員が養鶏で自立できることを期待している

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

142 養 鶏
132 養 鶏

記入昭和 56年 4月 17日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Poultry	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 132 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)
(日本語): Bangladesh 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: BADC, ADE 日本語名称 ()
所在地: ঢাকা 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BADCは主に供給を中心とし、肥料種子、機械供給を以ており、
来年度の年計画で、現在4か所の開発農場(ADE)を20か所とし、農業サービスセンター(ASC)
として拡充の意向。

ニ. 設備概要: 現在4か所のADEには1ヶ軒ベター、鶏舎はあるが、野菜中心のため、
養鶏はカンパイルを除いて盛んではない。

(2) 隊員の業務内容: ADEは野菜の種蒔生産が中心であったが、ASC意向に伴って
養蚕、養鶏、農業機械修理等多角化する方向。養鶏は英国研修を終えたオフィサー
就任により、細々と実務してはいるが拡充する必要があった。1人ずつにカンパイルADE
に隊員がいるが、ঢাকা中央で養鶏オフィサーを補佐し企画、巡回指導にあたる。
ニューカズル、鶏痘、コレラ、CRD、マラリア、赤痢等のワクチン接種、定額圧を得られる
停電をする場での3.4卵、自然飼いで安い卵価との関係、輸送を念頭にマーカーティングの
肉鶏、飼料等多岐にあたる。尚、尚路は多いが、動物性タンパク質供給、食の
改善から、魚と並ぶ供給源としてすぐに解決出来ないも、隊員の出来る範囲での協力が
求められる。レバ中心でブライヤーは時期尚早。一部民間でカタコチH1が入る。

業務形態: ঢাকাに席を置き、企画の他、ジェニール、ポテア、ラジヤル巡回指導、
技術範囲: 多岐であり、1人に全ては不可能なので、高産中心とし、あとは隊員の
特に専門を發揮する必要がある。

キャリアート: 養鶏担当は英国研修終了したばかりの30年代。現場はワーカーで
知識の多い者は少ない。

機械: 日本製ベター、ゲージ飼いは少ない。1か所ベター、卵輸送バッキン有。
その他: CAREの資金が入っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

BADCでは養鶏普及に力を入れようとしており、4農場に日本製ベター
が入っている。バ国としても官民共に養鶏に注目している。しかしながら
卵価、流通機構、ヒナの供給、種鶏、病気、鶏舎等由縁も多く、専門的立場
からの助言が求められる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

142 養 鶏

記入昭和 56 年 9 月 4 日

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Poultry	(男) 1 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 142 養 鶏	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)
(日本語): バングラデシュ農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Kashimpur Agricultural Development Estate (日本語名称 (カシムール農業開発農場))
所在地: ダッカ管区サハール郡区カシムール 主要都市からの距離 (ダッカより 40 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 約 60 エーカーのモデル農場で野菜種苗生産, デモンストラーション栽培, 農民教育等を行っている。養鶏はアメリカ民間団体 CARE が資金援助を実施している。

ニ. 設備概要: 産卵鶏成鶏舎 2 棟 4 室 (1 室 79m²), 産卵鶏育お舎 1 棟 3 室 (1 室 23m²), ブロイラー舎 2 棟 10 室 (1 室 23m²), 現在育お舎 2 棟, 育成舎 2 棟, ゲージ鶏舎 1 棟建築中, 産卵鶏成鶏 800 羽

(2) 隊員の業務内容: 3 ヶ月令 750 羽, ブロイラー 毎週 200 羽出荷

4 ヶ月令農場に養鶏場があるが、当カシムールは中央養鶏場と 12 ヶ月令のヒナ供給中心の規模拡大が進んでおり、ブロイラー導入、ゲージ鶏舎導入等急ピッチで進んでいる。

① 隊員の業務上の地位: 場長の元で活動する。現在はカーター・ポートがあらたに実際の養鶏責任者として、労務管理まで担当しているが、今年中には養鶏オフィサーに就任予定。

② 形態: 養鶏場管理者として、場内に住居し、現場指導

③ 技術範囲: レイヤー、ブロイラー、孵化の 3 部門を管理する。中にはレイヤーである。特に病多はニューカッスル、鶏痘、ツラ、CRD、コリシス等がありワケンモケナシ。

④ カーター・ポート: 現在は 11 人が今年中には赴任予定。

⑤ 機械: デッカー、インキベーター等有り。規模拡大後の 4 階層、育お舎等必要と見られる。

⑥ 外国人: 野菜 SOCU 1 人, CARE 側 (農業) PM 1 人

⑦ 言葉: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

BADC は養鶏普及に力を入れており、他 3 農場の中心の養鶏場にして卵価、流通機構、ヒナの供給、種鶏、病多、鶏舎、飼料等問題も多く、農家の立場からの助言が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

高専卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 20日

132 養 鶏

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Poultry Officer	(男) 1人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 57年 1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 月迄に現地到着のこと (2or4)

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture
(日本語): 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Chinjara Hatchery 日本語名称 (チンジャラ種鶏場)
所在地: P.O. Box 46 Chipata 主要都市からの距離 (ホバより 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: イースタンプロビンスにおける 雛の需要とみたく、種鶏群より得た種卵をフ化して雛を発送する。同時に地域農民の技術向上も図る。

ニ. 設備概要: 2千羽収容の鶏舎が2棟 (他2棟建設中)
孵卵機及び停電時発電設備

(2) 隊員の業務内容: 種鶏の一般飼養管理、孵卵器の操作、点灯管理、発電機の定期的点検部品交換、緑餌用畑の管理等種鶏場のマネージメント。

素雛は主都ルサカのP-バーエーカーポウルトリーより仕入れ、それを種鶏群として飼養。現在千羽飼っている。それをフ化させ毎週3千羽の雛を発送してイースタンプロビンスの需要を満たしている。

最大の問題点は餌であり、79年10月には約千羽の鶏群と産卵開始直後に飼料の入手困難により売ってしまった事もある。飼料の補給として緑餌を与えてはいるがトウモロコシ、サツマイモ、ダイズ、オムギ等を栽培して、あてにならない配合飼料にたよらなくても良様にしなくてはならない。その点を考へて、養鶏の知識、経験だけでなく、耕作に關してのそれも要求される。

主食ミマ (マイロを粉をひいたもの) も市場から姿を消す様な国だけに、鶏、ブタ等の餌は配合飼料がなくなることを承知の上で行なえる畜産を経営しなければならぬ。鶏肉はkg当りK2.70 (約630円) で売られている。

職場におけるオス3国人: なし
使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 隊員はチンジャラ種鶏場の経営にたずさわるのだが、半官半民の飼料会社 (National Mealina Co.) の問題点や2年ごして新たに資金の欠如のため完了しない新鶏舎の建設などの諸問題に關する発言権は少ない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ①大卒 (農学部) ②孵卵器の操作、定期点検ができる事 ③鶏 (Layer) の飼養経験3年以上 ④運転免許 (自動二輪免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

13105 養 蜂

調査者氏名 ^{在パラグワイ国} 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
PARAGUAY	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先 Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)

(日本語): 農牧省 農牧普及公団

ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de Caacupé 日本語名称 (カクペ普及事務所)

所在地: Caacupé, Cordillera 主要都市からの距離 (首都より 54 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団が統轄する全国約58ヶ所の普及事務所の中でも、カクペ普及事務所は、コルディエラ県に於ける中央連絡所的機能を果たしており、5人の普及員を中心に管内農家に對し一般農業指導、生活改良普及、洋裁指導等の業務を実施している。

ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上、機械等は皆無。唯一隊員携行分のみ。基本的設備は、一応整っているが、建物が古く、水が十分ないのが欠点である。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 普及指導員

② 技術の範囲 - 野生蜂の取り方、管理方法、採蜜、女王蜂の改良、ロイヤルゼリー採集までを一貫して、初心者に指導するほか、既養蜂家に対しては各種問題の相談役を担う。

③ 業務の形態 - コルディエラ県に於ける小規模養蜂農家と巡回指導し、上記「技術の範囲」を指導すると共に、シーズンオフは養蜂に関する簡単なパンフレットを作成したり、民間ラジオ放送を通じ、蜜蜂の生態に関するブリークを行なうことも期待されている。その他、養蜂振興を目的とした短期講習会に於いて参加者への実地指導にも従事するなど幅広い活動が要求される。

④ 対象者及技術水準 - 一般養蜂農家 (年齢はまちまち) を対象。既養蜂家はある程度の知識・経験を有する。

⑤ 利用できる機械 - 業務遂行上、国立アスンシオン大学農学部養蜂学研究室と密接な連携を維持することが必要で、巣箱作成、蜜源調査、花粉・蜂蜜分析等に関する一切の機械は、同研究室のもの活用可能。

⑥ 本国人手の配置 - 全上養蜂学研究室に對する専門家派遣が約10年間続き、本年をもってプロジェクトお切りの予定 (現駐在員2名)

⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ここ数年当国の養蜂に対する関心及認識は非常に高まりを見せており、養蜂を志す人々が増加する傾向にある。これは蜂蜜の単価が上昇したこと、特に一部地域では土地条件が非常に悪く、他の農業では生計維持が困難であること、養蜂業では立派に自立し得る結果が次第に出始めていること等によるものである。小農家の生活向上を政策に掲げる農牧省として、更に養蜂の普及を図るべく、今回要請越したものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は特に向かいが、荒いアフリカズミの野生蜂を管理し得るだけの実務経験が必要とされる。

又国立大学養蜂学研究室の器具・器械を利用する観点から、実験及び実験器具に対する基本的知識を有すればなお良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 20 日

ザンビア

135 獣 医 師

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer	(男) 1 人	訓練開始 56 年 8 月
	(日本語) 獣医師(大動物)	(女) 人 (どちらでも可) 1 人	派遣予定 56 年 10 月 受入期限 56 年 1 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services			
(日本語): 農業及び水資源開発省 獣医師及びトsetse 制御事業局			
ロ. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office (交替) 日本語名称 (州 獣医事務所)			
所在地: P.O. Box 16, Chipata		主要都市からの距離 (市内より 約 100 ㎞)	
ハ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に 8 箇所のある地方獣医事務所を有し、病理解剖を主として診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方、ワヤワヤ郊外に新中央研究所が 1979 年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検、培養、細菌検査、疫学検査を主に行っている。			
ニ. 設備概要: 1979 年に補入隊事務所より特別機材供与として家畜衛生検査用機材 (顕微鏡送心分離器、喉頭器、蒸気滅菌器、乾熱滅菌器、嫌気性培養器、蒸留器、水質検査器) が寄贈され、各地の獣医			
(2) 隊員の業務内容: 事務所にも設置されている。加えて、一部の設備は壊れている。機材については修理の必要あり。薬品類 (ワクチン注射液、消毒液) が不足している。実験室はあるも充分とは言えない。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位: 獣医師として Provincial Veterinary Officer の監督下にある。			
② 技術の範囲: 家畜の診療 (農場への往診、診療所での小動物の診療も含む)、病理解剖 (大動物)、ワクチン注射、寄生虫検査、血液検査、牛の分娩観察、事務所業務 (局長への英文報告書作成)。家畜は主として肉牛、羊、山羊、豚、鶏等が対象となる。			
③ 業務の形態: 農場、農場への往診業務。同事務所実験室での解剖検査等の業務。及び事務所業務。			
④ 対象者及びその月一歩の技術水準、学歴及び年齢: 獣医学は当国には殆どが家畜飼育士、獣医補正等のための養成学校卒業者が対象となりうる。			
⑤ 現地に利用できる機材: 上記寄贈機材の他、一部整っている。大動物用解剖機材等一式を持参してはならない。産科関係機材、薬品 (大動物用鎮静剤) も当座の分持参の事。			
⑥ 職場に於ける米国人及び日米専門家の配置状況: Provincial Veterinary Officer - 1 人、獣医師 1 人、			
⑦ 使用する言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
外国人コントラクター (特にヨーロッパ系) の帰国に伴う切り替える要請として 1978 年より継続して派遣している。ザンビア人獣医師 6 名 (獣医局長も含まれる) が管理職に充てられ、現場の業務はほぼ外国人コントラクターの 20 名がおり、獣医学の深い現在、コントラクター又はボクシングに類している。ザンビア人獣医師の不足と家畜の病気が多いこと、事務所での特別機材供与、前任隊員の業績が高く評価され、期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○(大卒 獣医師免許必須) (大動物に関する知識及び診療経験 3 年以上) (外国人コントラクターへの対応力) (毎月英文レポートの提出が必要) (英語力 (専門用語含む) が要求されている) (地元へ帰国後、生活に支障がないこと) (当然のことだが、強い精神力と定着性が要求される) (単身及び普通車免許取得のこと)			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

145 獣 医 師

記入昭和 56 年 5 月 23 日

調査者氏名 茅根 史男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 56 年 10 月
	Docteur Veterinaire	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと
	獣医(臨床)		

(1) 配属先 Secretariat Executif des CER

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretariat d'Etat à la Promotion Humaine

(日本語): Senegal-Oriental

ロ. 隊員勤務先名称: Assistant Régional des CER 日本語名称 (セネガル-オリエンタル CER 事務所)

所在地: Tambacounda 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 州事務所下には 3 県事務所 12 事務所 CER あり

ニ. 設備概要: 州事務所長と運転手 2 人あり。各 CER には 5~6 人の農業・家畜飼育・家政・森林の技術者が勤務している。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: セネガル-オリエンタル州 CER 事務所長の補佐を担当する。

2. 技術上の範囲: 家畜 (牛・山羊・羊 等) の病気の診療に詳しい。ノスト、ノストツルロセ、炭疽病、botulisme

3. 業務上の形態: CER 事務所長の補佐として、12 事務所 CER の技術者と連絡をとる。P.D.E.S.O. (Projet Developement Elevage au SENEGALORIENTAL) OFADEC (Office Agricole Developement Economique) の各プロジェクトに対する技術的支援活動が主である。

4. 外国人の配置: PDES0 には 1 人、OFADEC には 7 人以内

5. 言葉: フランス語 (公用) ウォロフ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: トウクルール・ウオロフ文化

ポール・ソニエ文化。家畜飼育の盛んな州であり、その中には畜産技術者のプロジェクトもあり。家畜の病気を専門に扱うのは 10 人以下 (主として家畜の技術者) 期待される仕事は多い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

獣医資格 9750ト

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

145 獣 医 師

記入昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 本パラグアイ国
海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) VETERINARIO	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 獣医	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Universidad Nacional de Asuncion

1. 配属先名称 (現地公用語): Facultad de Ciencias Veterinarias
 (日本語): 国立アスンシオン大学 獣医学部

2. 隊員勤務先名称: Dept. de Reproducción Animal 日本語名称 (家畜繁殖学科)
 所在地: San Lorenzo 主要都市からの距離 (アスンより 11 キロ)

3. 事業規模及び内容: 牧畜業の盛んな当国に於いて、基礎研究 普及活動の大元給め的存在であり、今後
 獣医病院の建設と計画する等活動は意欲的である。

4. 設備概要: 過去に派遣された専門家が行った機材は昭和54年度実施された JICA 単独機材供与 (約300万円)
 毎日より大方必要を賄っている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 獣医 (アシスタントインストラクター)

② 技術の範囲 }
 ③ 業務の形態 } - パラグアイ人スタッフ及び日本側専門家と共同して学科の運営に当たるが、隊員の場合
 特に実技指導の面で機動性を発揮することが望まれる。
 又、獣医学と農牧省とは不即不離の関係にあり、現地人スタッフの場合両者兼務が殆んど
 という実情もある為、必要に応じて農牧省の人工授精センター (所長は日米二世 Dr. OKA) 及び
 牧場で人工授精を実施するなど幅広く活動する必要がある。期待もされては

④ 技術水準 - スタッフの殆んどは JICA 研修員として日本滞在の経験があり、技術面でそう見劣りはないが
 計画性、指導やアドバイス把握面で弱いことはある。尚、我が国専門家 JOCV の要請へと
 続けられているものである。

⑤ 利用する機材 - 応接している

⑥ 在り国人等の配置 - 日本人専門家 2名 (専攻畜産大)

⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国立大学への我が国協力は、農学部に対する「養蜂」、獣医学部に対する「家畜人工授精」の分野でそれぞれ
 専門家を介して約10年の歴史を有しており、特に獣医学部側の熱意もあり、今後 JOCV の機動性が評価され
 本件要請機材にもあり、専門家とのパイプをこいつ効果的機材態勢を構築する意味でも活動に対する
 期待は大い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 家畜人工授精師 実務経験 3年以上あればなお望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

152 漁業協同組合

謝英仁. 田上実

記入昭和 56年 12月 10日

調査者氏名 千頭 聡

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de la cooperativa pesquera	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁業協同組合指導	(女) 人	派遣予定 57年 8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年10月に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION DE FOMENTO COOPERATIVO
 (日本語): 協同組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: Cooperativa "Golfo de Fonseca" / Cooperativa "Península del Caribe" 日本語名称 (アマバウ漁業協同組合連合会 / オモア漁業協同組合連合会)
 所在地: アマバウ (南部) / オモア (北部) 主要都市からの距離 (主都より 145 / 350 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: アマバウ漁連は傘下に4つ、オモア漁連は3つの単協と有し、それぞれ水産物運搬車にてテグシカルパ市、カンパドスラ市などの都市に漁獲物を搬出している。オモア漁連はカンパドスラ市に直売店を経営している。組合員数アマバウ46名 オモア85名 各単協とも1~3隻のカヌーに船
 ニ. 設備概要: 外機を付けて、ナロンテフス製産刺網 (仕立てより長さ150~250m) 漁業に主に従事している。その他釣、地曳網漁業があるが、自分個々の漁具資材、カヌーを持っている組合員は少ない。

(2) 隊員の業務内容: 漁業協同組合の組織作り指導、管理運営、経理をはじめ組合に関するありとあらゆる仕事を指導することになる。

- ① 業務上の地位: 協同組合助成局所属、漁業改良普及指導員
- ② 技術の範囲: 水産一般知識、漁業組合の組織、管理運営経理面での実践的知識。特に漁業生産物の流通及び販売に関する知識が必要である。
- ③ 業務の形態: 各単協間を巡回指導し、組合理論の啓蒙をはじめ、漁協に関する問題点の改善に努める。販売事業の現場における指導もある。また中央官庁と漁民との間の仲介的役割も果たし、月一度の割合で主都テグシカルパ市に上京する。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴、年齢: 対象者は漁協組合員であるがほとんどの者が小学校卒業または中退ぐらいの学歴で、特に計算に弱く、帳簿記入は簡単なものしかできず長続きもいない。カウンターパートとしては協同組合助成局所属の改良普及員が5名いる。2名は日本で研修を受けた者であるが、その他はほとんどが漁業を知らない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 簿記に於る各種伝票、集計表を漁民に理解できるように、工夫する必要がある。現地にほとんどどの機材は調達し工夫することができる。
- ⑥ 職場における第3国人及び日本専門家との配置状況: なし
- ⑦ 使用言語: 西語。黒人部落は全部が漁村であるが、彼らはカリブナ語と日常話あり。しかし会議など公共の場では全て西語である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、零細漁業開発プロジェクトが進行中であるが、漁業協同組合がその中核になるように、一日も早く一人歩きできるように指導あることを期待している。漁業協同組合を通じて生産者の生活向上を計るとともに、水産物流通機構を整備し、内陸都市部の人々(特に貧乏の人々)に魚を安く食べようという消費の拡大の目的もあっている。そこで国全体の水産経済を考慮しつつ、漁民の生活向上をも考えなければならぬ。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 漁業簿記の知識、販売事業に関する現場の知識は必要で、日本の学校で応用できる力が望まれる。協同組合大学出身者、または水産大学、漁業経営経済を専攻した者で実務経験2年以上を希望する。
 - ② 西語の語学力があること。
 - ③ 自動車普通免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 20 日

14-003.153 村落開発普及員

調査者氏名 平川 潔

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語) Community Development Worker	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 村落開発普及員	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 地方行政省 セントラル州

ロ. 隊員勤務先名称: 地域開発事務所管下。村落 日本語名称 ()

所在地: 未定 主要都市からの距離 () より キロ

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. ガナ中部の森林地帯の小村(人口500人位)で生活改良、環境改善等に合んだ Total 村の開発に従事する。
2. 水道、電気等、文明に用いられぬ森林の小部落内に住民と同レベルで生活し、環境等を利用して、生活改善を促し、又、住民に生活向上意識を芽生えさせる刺激役となる。
3. 専門的知識は必要ないが、ゆたか自然を知り、その自然の利用と改善に熱意があり、特に子供達(3才~12才)に対して、その利用と改善の方法を指導できること。例えば簡単な竹細工(竹は豊富にある)の指導、金魚保存法の指導、植樹の指導、野菜栽培の指導、木材の利用法等自然環境を利用して、生活改善の刺激となり得ること。
4. 村の開発に必要な経費の少ない方法による開発計画の作製、住民の意識の向上、多文化的思考の導入等を村のトップ(家長)と共に実施する
5. UNICEF、ガナ大学、Ministry of Cooperative & Social Welfare の協力の下で実施する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガナ大学アソシエイト教授の文化人類学者である Mrs. Sutherland 女史(作家・詩人)の村落開発への大きな希望と共に、ガナの新しい(ガナ人)発展に向けての期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 身体頑健なこと (水泳、電気なしの生活)
2. ボランティア経験が、創意工夫を看せていること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 2月 日

160 食品加工

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Food Processing (日本語) 食品加工	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Authority
(日本語): 南部フィリピン開発機構
- 隊員勤務先名称: SPDA Region 12 office 日本語名称 ()
所在地: Kabacan, North Cotabato 主要都市からの距離 (約) 90キロ
- 事業規模及び内容: 南部フィリピン開発機構才12地区畢治地区の専攻プロジェクト。同機構が「南部ミンダオ国立大学と共同で」ほいある。当初予算約300万円。加工の対象は淡水魚、農産物である。
- 設備概要: 当初1年は種々の食品の加工試験的に行なう。後に各該の機械等を導入する。正確な規模は現在おぼろげに未定

(2) 隊員の業務内容:

- 同プロジェクトは、プロジェクトリーダー1人、リポーターの補佐役3人、これに隊員が技術面のアドバイザーとして加わる。これら中心スタッフの他に5人の労働者を雇う。当初1年間の熟練段階を経て商業生産に入る予定である。
- 隊員の業務上の地位: 食品加工に関する技術面でのアドバイザー
 - 技術の範囲: 肉をふくめた農産物の加工だけでなく、魚(淡水魚→フィラリア、ミルクフィッシュ)の加工についての知識を有することを目指す。
 - 食品加工プロジェクトの技術面でのアドバイザーとして、実際に参加する。
 - 現時点で「フィラリアレポート」に於いて明確に記述している「フィラリアプロジェクト」リーダー補佐役のうちの1人がこれに当る。
 - 当初1年間は試作なので、大きな機械はほいかに必要。費用はSPDAが負担する。
 - 使用する言葉は、英語、ヒルガヤが中心

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

North Cotabato の Kabacan 町は近くに、リクワ-サと沼沢地があり、ここで「フィラリア、ミルクフィッシュ」がとれます。肉をほいめ農産物も比較的に豊富にある。ほいかに地元で食料消費が盛んである。ほいかに今後の販路を拡大するため加工を行なう。ほいかに期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

食品加工に関する実務経験を有することを目指す。南浦の大学学部卒であることを目指す。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

166 水産物加工

記入 昭和 56 年 11 月 10 日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish Preservation	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 水産物加工	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Panay State Polytechnic College
(日本語): パナイ国立技術大学

ロ. 隊員勤務先名称: Panay State Polytechnic College, Pantabedra. 日本語名称 (パナイ国立技術大学 ホンテパド分校)
所在地: Pantabedra, Capiz. 主要都市からの距離 (ロサバより 25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 55年12月に4つの学校を統合して国立大学となった。総学生数は約4000人(高校、大学を含む)のうちホンテパド分校は1500人弱であり、同分校は水産教育が中心。

ニ. 設備概要: 約75haの養殖池があり、クルマエビ、バグース(ミルクフィッシュ)カニ、ティラピアを養殖している。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 大学の講師

② 技術の範囲: 水産物加工に関する一般的知識(大学で教えられる程度)が必須である。この他実際面では、クルマエビ、バグースの冷凍保存法、バグースの乾物保存法、さらに、他の魚の養殖、魚苗のつくり方なども知っていることが要求される。

③ 業務形態: 大学での講義および学生の実験指導を行う。

④ カウンターパート: 大学の教官

⑤ 現地で利用する機材: 特になし。

⑥ 職場でのオコシ人: なし

⑦ 英語およびセカヤ語(バニョナ語とセカヤ語の一方) 使用言語:

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Capiz 州には広い面積の養殖池をもち、クルマエビ、バグース(ミルクフィッシュ)を中心に養殖が行われており、大学では地場産品である養殖魚を鮮魚として売るだけでなく、冷凍保存や乾物としての利用を推進して、将来の地場産品のさらなる発展に寄与することを望んでいる。このため隊員を要請し人材を育てると同時に新しい加工技術を導入したいと考えている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学の保蔵・加工関係の専科卒で、経験 2-3年あることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

166 水産物加工

記入 昭和 56年 9月 17日

調査者氏名 藤 倉 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語) Fish Handling	(男) 1 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 水産加工(漁の鮮度保持)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年 8月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Fisheries	
(日本語): 漁業者	
ロ. 隊員勤務先名称: Institute of Fisheries Technology	日本語名称 (漁業技術研究所)
所在地: 70-アバント, コロンボ	主要都市からの距離 (より キロ)
ハ. 事業規模及び内容: ① 現在利用されていない漁の利用法の確立 ② 湖沼を利用した淡水漁の養殖, ③ 海水漁の養殖, ④ 流通体制の確立	
ニ. 設備概要: 漁獲物の保存及び水産加工についての設備は一通り揃っている。	

(2) 隊員の業務内容:

1 隊員の業務上の地位	漁の鮮度保持のための教師。
2 技術の範囲	現状では漁の保存中、輸送中の鮮度を十分に保つことができません。いわゆる、ポストハーベストロスが一つの大きな問題となっています。水揚げ処理、保存の方法、輸送する場合の氷つめの方法等について現地スタッフを指導する。業務は、コロンボを基地にして各地を巡回指導することになる。
3 業務の形態	
4. カークーパト等	
5. 材料等	現在研究所には約 50%のスタッフが勤務中であるが、初年度製造、加工分野では約 10%の水準(生物学科率)であるが、年内的な教育は受けていない。on the job training で水産に関する知識を身に付けている。年令 20才~30才位。
6. 才3国人等	冷凍施設はあるが、故障する事が多く、物保管管理は充分とは言えない。
7. 使用する言語	FAO 専門家として江藤誠一氏(水産加工)が勤務中。 英語、シンハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国には水産学部を有する大学はなく、専門的な知識を有する人は少ない。特に本分野では限られた資源を有効に利用するためには、ポストハーベストロスといかに少くするかにいうことは重要な課題であり、隊員の要請があることである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒(水産製造科) 経験 1年以上
日本の小規模な水産製造会社で原料 買付を担当した経験を有する人が最適と思われる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9 月 14 日

166 水産物加工

調査者氏名 河原 功

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) <i>Procesamiento y Mantenimiento de Pescado</i>	(男) 1 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 水産物加工	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Direccion Gral. de Recursos Naturales Renovables*
(日本語): 天然資源省更生総局.

ロ. 隊員勤務先名称: *Laboratorio de Procesamiento de Pesca* (日本語名称 (水産物加工実験所(仮称))
所在地: *La Ceiba* 主要都市からの距離 (セバより 2キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産物加工実験所は、現在、建設中であり、今のところ、同敷地内の海洋生物研究所にて、協力活動を行なっている。

ニ. 設備概要: 別紙参照

(2) 隊員の業務内容: ホンデュラス国に適する魚類の加工法を求め、それを紹介してゆく事を通じて、同国の漁業の発達を助ける事を任務とする。現在、*Albóndiga de Pescado* (魚肉の揚げボールの意) をホンデュラス国の人々に試食会及び試験販売を通じて紹介中である。水産物加工を一つの産業として育ててゆきたいと考えている。

1. ボランティアの技術者:

2. 魚肉ねり製品及びその他水産加工の技術、保存、流通の知識。

3. 4. カウンターパートは、現在申請中だが、まだ付いていない。よって、実験の試験販売まで一人で進行している。

5. 魚肉ねり機、肉挽機、冷凍庫、冷蔵庫、ガス台、etc.

6. 海洋生物研究所を基地として、日本人水産専門家3名勤務中。

7. スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスの国民は、まだ魚を食べる習慣が少い。それは、流通の未発達と魚の食べ方を知らない為と思われた。本国の漁業関係首脳部はこの国の将来を考えると魚を有効に利用する必要性を強く感じており、よって、日本の水産物加工及び、その他の技術に期待する所が多い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○普通車運転免許

大学卒業程度 (食品に関する学科)

実務経験 1~2年程度 (魚肉ねり製品関係)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和57年3月16日

170 森林経営

調査者氏名 小松 正司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年10月
	Forestry	(女) / 人	派遣予定 58年1月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 58年2月迄に現地到着のこと
森林経営			

(1) 配属先 Department of Forests, Ministry of Forests

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 森林省 森林局

ロ. 隊員勤務先名称: The Community Forestry Development Project 日本語名称 (地域共同体森林開発計画)

所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本プロジェクトは政府・新森林政策として、ネパール森林省・国連 (FAO) の技術協力と世界銀行の財政援助により、1979年7月より始める地域共同体森林開発事業4ヵ年計画 (初期) の28地区 (District) 中17地区を各担当地区の森林開発事業として実施する。

ニ. 設備概要: 遂行地区は、以下7地区 (森林局) の国連の Associate expert 及び各担当地区に割り当てられている。: Ilam, Okhaldhunga, Sindhuli, Palpa, Baglung, Tamghae, Beni Sahar

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: ネパール森林局職員と指導者立場で国連の Associate Expert と同等。
- ② 技能の範囲: 林業普及、養樹、再植林。
- ③ 業務の形態: (a) パンチヤット単位の森林開発事業の計画、遂行。 (b) 営林業及びパンチヤットにおける養樹の管理運営。 (c) 営林業スタッフ及びパンチヤットの林業者及び農への指導 (耕作技術の促進、森林保護、再植林、森林経営など) (d) プロジェクトの付帯共同体への効果測定。
- ④ 対象者カテゴリー: パンチヤット (村部落) の林業者及び地元住民が対象で、カテゴリーは営林業スタッフ。
- ⑤ 利用する機材: 不明。必要機材は国連、世界銀行から供与される。
- ⑥ 先住国: FAO 技術顧問 (4人) 地政学 associate expert, volunteer が予定されている。
- ⑦ 使用言語: ネパール語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパール地域社会の生活向上を計る長期にわたる国家政策の中心は山間部地元住民の生活向上、燃料用の薪、家畜用飼料を生産し、土壌の流出、土砂崩れで荒廢している山林を復旧することである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 林業の業務経験 (2年) 。地域開発への関心、意欲のあること。
 年齢 高校以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年 〇月 〇日

170 漁具 漁法

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)
(日本語): 水産資源局
2. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I 日本語名称 (同上)
所在地: Dagupan City, Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)
3. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場からなり, 自治体で管轄される水面以外の水域における資源の管理, 保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。
4. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はない。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソンネー帯をカバーするリージョンIのうち4つのプロビンス

- (イロコスルテ、イロコスル、ラウニオン、パンガシアン)には現在 海を持つ隊員が各々一名ずつ配置され活動している。
- 主な隊員業務としては 漁業実態調査, 漁業デモンストレーション, 水産教育分野等が行われており, フィールドワーク主体である。漁・漁況調査データ収集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。
- ① 隊員の業務上の地位 ... 漁業普及員
 - ② 技術の範囲 ... 海洋観測および各種漁具漁法の理論かつ実践における基礎的な知識を要する。場合によっては前任隊員の引継ぎ事項として鮪延縄のデモンストレーションが含まれるかも知れない。
 - ③ 業務の形態 ... 広範な漁業普及活動及び北西部ルソンネー海域の総合的な漁業実態調査を推進する上において現時点では各州に一名ずつ配置され, それぞれが十分連絡をとり合って現地スタッフと共に業務遂行する。
 - ④ 対象者 ... 漁民
 - ⑤ 現地に利用される機材 ... 特に無し
 - ⑥ 第3国人等 ... アメリカ平和部隊 数名
 - ⑦ 使用する言語 ... 英語, 他カ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 任期満了に伴う交替隊員の要請 (新里 稔一隊員(54/2)の 漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産大学卒の実務経験を有する者が望ましい。ただし水産高校卒の系 十分な実務経験および語学力かとも可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

181 漁具 漁法

調査者氏名 新井 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Deep Sea Fishing	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Administration

(日本語): 南部フィリピン開発機関

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: Zamboanga City 主要都市からの距離 (—より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

149名, 及び93名の漁船があり組合員25名、運営され
ている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: SAPANDAGAT (一つの漁民組織) にアドバイザー

② 技術の範囲: フィリピンに於ける漁業は沿岸漁業が中心であり
り遠洋と深い漁場での操業経験が乏しい。従って
隊員はこの種の技術に精通していることが望ましい。

③ 業務の形態: 漁民に対して直接技術指導を行う。

④ 対象者及びカウ: ターボートの技術水準、工場及び命令:

工場は近所であり技術は高い。漁民に対しては技術指導がある。

⑤ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

南部フィリピン開発機関は、今までの大統領夫人を議長とし本年6月
に改組され、ミニグナナオ開発に取組んでいる。国策として重点を
かけている開発計画がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 漁具経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年2月 日

181 漁具 漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fishing gear and methods	(男) 1人	訓練開始 57年6月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 58年1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 58年1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic state
(日本語): ドンマリアンマルコス記念立大学 College

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 本校 (技術) 日本語名称 ()

所在地: Lapasan, Cagayan de Oro city 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本校をカガヤンデオロ市にもち、その他に7つの分校がある。その内4つが水産の分校である。分校の規模は、それぞれ50人~100人の学生から成る。

ニ. 設備概要: 校舎等の設備は完成1つある。各分校 今年度中にポンボート購入の予定。

(2) 隊員の業務内容: 当学には4つの水産分校があり 協力隊員はそれらの分校を学期毎に回わり インストラクターとして 漁具漁法の授業を行う。と同時に各分校にプロジェクトとして 漁具を設置する。

漁具漁法の講義とは、漁具漁法学(漁具学, 漁具材料学, 漁法学), 航海学等であり、漁具漁法学は主に日本の近代漁具等の紹介、航海学は簡単な海図の読み方、船位のだし等であり 初歩的な内容である。

当校は技術訓練校であるため、実習が重視され 授業時間の半分以上が実習のために設けられているが、現在では、設備が不十分のため この時間は有効に使われていない。しかも実習用のプロジェクト作製も隊員の重要な任務である。

- ① 業務上の地位 ... インストラクター
- ② 技術の範囲 ... 沿岸漁業の漁具が中心である。
- ③ 業務の形態 ... 講義とプロジェクトの作成
- ④ 対象者: カウンターパート ... 学生を対象とし、カウンターパートはインストラクターである。
- ⑤ 機材 ... 無 (ポンボート購入予定)
- ⑥
- ⑦ 言語 ... 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学は近々、立総合大学から立総合大学に変わるため、規模・内容ともに充実を計っている。協力隊による日本の技術導入は本学拡充のため必要とされ、大きく期待されている。
横倉 和之 隊員 (55年/3次、漁具漁法) の代替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業 (インストラクターとしての活動に必要な条件である)
特に沿岸漁業の知識が技術が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和56年 11月 10日

181 漁具 漁法

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Fish Capture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
漁具漁法			

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Panay State Polytechnic College
(日本語): パナイ国立技術大学
- ロ. 隊員勤務先名称 Panay State Polytechnic College, Pontevedra 日本語名称 (パナイ国立技術大学)
所在地: Pontevedra 主要都市からの距離 (015分 約25キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 55年12月に4つの学校を統合して国立大学となった。総学生数は約4000人(高校、大学を含む)のうちホニテパドラ分校は、1500人弱であり、同分校は水産教育が中心。
- ニ. 設備概要: 25万ペソの予算で小型船を買い予定であるが、まだ具体化していない。(1ペソ = 約30円)

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 大学の講師
- ② 技術の範囲: 漁具漁法に関する一般的知識(大学で教えられる程度)が必要である。実際の授業は船が購入された後ということになるが、その際には必ずしも実習を兼ねたものになる。
- ③ 業務形態: 大学での講義および学生の実習指導を行う。
- ④ カウンターパート: 大学の教官
- ⑤ 現地で利用できる材料: 船の購入予定であるが、具体化していない。
- ⑥ 職場でのオコシ人: なし
- ⑦ 使用語言: 英語およびセバヤ語(セバヤ語→セバヤ語のフ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学の養殖池の周辺には海水外口があり2km(巾約50~100m)にわたっており、もちろんその延長は魚菜資源が比較的多く、いわゆる海域に富んでいる。このような周辺の環境を利用し、魚のとり方を学生に教えることが期待されている。この周辺の海域では、カワウ、マクロ、アヒ、イワシ等の他にクラゲもとれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
水産系大学の漁具漁法関連学科卒で実務経験が2-3年あれば望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1975年3月30日
1975年3月30日
1975年3月30日

記入昭和55年3月30日

181 漁具 漁法

調査者氏名

倉持 繁

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エリ	(現地公用語) فبير اليد البوي (日本語) 漁業専門家 (漁具漁法)	(男) <input checked="" type="checkbox"/> 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55年10月 派遣予定 56年2月 受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): **المؤسسة العامة للأسماك فرع اليد البوي بالادقية**
(日本語): **農業農地改革省 水産公園 ラタキア支所**
- ロ. 隊員勤務先名称: **水産公園 ラタキア支所** 日本語名称 ()
所在地: **ラタキア市内** 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: **水産公園 唯一の海面漁業支所であり 80ト=漁船3隻が運用されている。**

ニ. 設備概要:

**80ト=漁船 (360HP 庫網網 様網兼用船) 3隻
20HP 小型船 6隻**

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位

**支所=配属され 必要とされる際は乗船する。
陸上では支所スタッフ 海上では船長待遇とする**

技術の範囲

**日本における同規模船 100~250ト級の漁船の船長と同等または準ずる技術が必要とする。
具体的には トロール漁法 様網漁法 の知識・技術。
及 船航行 運用 海上法規等に関する知識。
又 網 様網 延縄漁法 (小型漁船による) に関する知識。**

カッターボート

など

使用する言語

**乗船時は アラビア語
支所においては 英語の使用可**

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

**エリ国において 又当水産公園において 漁業に関し 豊富な経験 技術
を有する者が少ないので 当隊員の派遣は 熱望されている。**

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- **水産高校 漁業科 専攻科卒** 又は **乗船 経験 5年以上**
- **水産大学** " " **乗船 経験 3年以上**

○ **海技免状 乙種船長 (甲種=単航海士以上) は絶対条件**

○ **(半年間の技術研修) 1981年の8月10日迄**

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表 9-32

記入 昭和 63 年 12 月 18 日

181 漁具 漁法

調査者氏名 宇利 正樹 (ニニ)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
4-Y	(現地公用語) Fishing gear & method	(男) 2 人	訓練開始 57 年 10 月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 5 年 3 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of wildlife & tourism
 (日本語): Fisheries Dept. 野生動物省ケヤ小室向

2. 隊員勤務先名称: c/o. Mombasa Fisheries Office
 所在地: P. O. Box 90423, Mombasa
 (日本語名称 (ケヤ小室向)) 主要都市からの距離 (ケヤより約240キロ)

3. 事業規模及び内容: ケヤ小室向は沿岸部小漁業の中心向く規模、日本小室向並 職業訓練 調査統計等水産行政一般を担っている。

4. 設備概要: 漁具漁法 漁船工造、各社部門 workshop 指等漁具を備 (コンクリート船、木造船) 刀等 3 艘

(2) 隊員の業務内容:

同様の隊員の業務を継続 (Fishing training school) の教育、小室トロール漁業の普及、漁具作製、業組員の訓練、一般漁民に対する技術指導)

隊員の活動が多岐にわたり、しかも設備等不十分で、隊員各位の創意工夫が必要である。

漁業協同組合を設立する動きもあるため、それらの調査と漁具漁法技術の普及を重点に行うようにしている。

トロール漁業の普及と共に刺網、底網、漁業の普及の力をいれたい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 受入の条件はケヤに設置された隊員が、同様の業務を担うことを期待する。これは、各部門にわたって不可能な、隊員独自の創意による活動が行われる。各部門の様々であるが、環境の改善、漁民の生活向上の期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 小室トロール以上可能な経験、刺網、トロール、底網漁業の経験があること。船乗り経験、水産行政の経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入昭和 56年 11月 10日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): Panay State Polytechnic College
(日本語): パナイ国立技術大学
- 隊員勤務先名称: Panay State Polytechnic College, Pantepecora
所在地: Pantepecora, Capiz
日本語名称 (パナイ国立技術大学 ホンテペコラ)
主要都市からの距離 (バス約 25キロ)
- 事業規模及び内容: 55年12月に4つの学校を統合して国立大学とした。総学生数は約4000人(島校、大学を含む)のうち、ホンテペコラ分校は1500人弱である。(また同分校の敷地面積は約160ha) ホンテペコラ分校の専攻科は、
ニ. 設備概要: 約75haの養殖池がある。

(2) 隊員の業務内容:

- 隊員の業務上の地位: 大学の講師として、養殖の講義を行う。
- 技術の範囲: 養殖に関する知識は大学で教授できる程度のもので、必要である。また、講義だけでは必ず実際に養殖(技術)の指導にもたず、さゆるので、実務経験も必要である。特に同校の養殖池は約75haと広く、養殖されている魚種は、クルマエビ、カニ、ティラセア、バグース(ミクフリシ)が中心である。中でもクルマエビはカセス川の主要な魚物の一つで日本にも輸出されている。したがって、エビの養殖についてはかなり高い養殖技術が必要である。
- 業務形態: 大学での講義および養殖池での(実際の)養殖に従事
- キャリアパート: 大学の教官 (学生実習と)
- 現地で利用している機材: 約75haの養殖池。
- 職場での外国人: 57年5月末までアメリカのヒューストン(女性)がいて大学で養殖を教えている。
- 英語およびセカヤ語(イロコ語 → セカヤ語の一つ) 使用する言葉。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学側は、クルマエビ、カニ、ティラセアバグース(ミクフリシ)の単位面積当りの生産量の増大を期待している。また、クルマエビとバグースの稚魚生産を試験的に行う計画をもっている。さらに養殖池をさらに拡大する計画(10ha以上)もあり、カニの養殖にも取り組む意向であり、できれば隊員の指導を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
水産系大学の増養殖学科卒で2-3年の実務経験を有ることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 16 日

171 養 殖

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Fish Culture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	養殖(海水)		

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *United Small Fisherman and Farmers*
(日本語): *Association of the Philippines, Inc.*
- ロ. 隊員勤務先名称: *小規模農民協同組合* (日本語名称 ())
所在地: *Malita Palau del Sur* (主要都市からの距離 (9/1より) 10キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

約 600 ha の養殖不能池があり、これを利用して
Prawns, Bangus, Tilapia, eels 等の養殖をしようとする。

ニ. 設備概要:

養殖不能の養魚池のみ

(2) 隊員の業務内容:

- 隊員の業務上の地位: 組合所属の技術者
- 技術の範囲: *Prawns, Bangus, Tilapia, eels* 等の養殖技術が
あつたが、唯一の魚種はニギ。
- 業務の形態: 組合員に代り指導
- 対象者及びその数: 5-10人の技術指導、量産及び命令:
Project Manager の *M. Rustico Z. Tagarda* の世
に必要に応じて 5-10人を配置する予定、*Bangus*
Tilapia 等の 2-3 の養殖技術がある。
- 現地の利用でできる機械: 養魚池
- 取組に於ける主要な日本人及び日本国内家の配置状況: なし
- 使用する言語: 英語、フィリピン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規

フィリピン: 各地に於いて *Bangus, Tilapia* 等の養殖が盛んにあつて
いるが、この *Palau del Sur* には *Fish Pond* 可能な場所が多く、この
養殖は冬夏面から期待される。特にこの分野で先進的技術を持つ
者が同じ組合員、協同隊員の要請があるため、その期待は高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産学大卒程度であり、当該分野での経験があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

171 養 殖

調査者氏名 新保昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖(淡水)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Administration
(日本語): 南部フィリピン開発機構

ロ. 隊員勤務先名称: Lake Buluan Development Project 日本語名称 (グループ: 湖開発プロジェクト)
所在地: Buluan Maguindanao 主要都市からの距離 (マリナオより 60キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

グループ: 湖の約 5800ha の内陸沼澤として地味生産に注力、淡水魚 (コイの中心 20~25t/月) を供給する。

ニ. 設備概要:

現在、生産育成のための施設が不足している。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 南部フィリピン開発機構に付した Advisor

② 技術の範囲: 淡水魚 (コイ) の養殖技術の普及

③ 業務の形態: 技術者としての技術指導と研究

④ 対象者及びターゲット: ターゲットの技術水準、工場及び命令: 漁業局から派遣された技術者 (固定の) がおり、水産関係の大学は卒業しているが養殖に関する知識、技術は低い。

⑤ 現地の利用可能な設備: 未だ project が発足して月を待つ、利用可能な設備は少ない。

⑥ 使用可能な現語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

四面海に囲まれたフィリピンは水産資源は無限に近く、最近養殖は中心が高まっている。既にバコス (淡水魚) の養殖の市場に出廻り、高値が取引されている。グループ: 湖の内陸沼澤として注目されているが、資源の管理が心配されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 7 月 24 日

182 養 殖

調査者氏名 八塚明彦 印

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Seaweed Culture	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	ノリ養殖		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources
 (日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: B.F.A.R. District Fishery Office 日本語名称 (水産資源局 地方支所)
 所在地: Tacog City Ilocos Norte 主要都市からの距離 (マニラより) キロ

ハ. 事業規模及び内容:
 ノリ養殖は、1968年より イロコス・ノルテ水産資源局の事業の一つに行われている。
 しかし、いまだ成功を見ることができない。

ニ. 設備概要: タコグ市の北約45km ありある プルゴス町に水産局の Marine Station
 があり、ノリ養殖事業にあてられている。

(2) 隊員の業務内容:

水産資源局と NEEDA (National Economic Development Authority) の要請により、1981年8月に JICA のノリ養殖専門家が来比し、1年間の任期で
 イロコス・ノルテ水産資源局のノリ養殖事業に携わることになった。

JICA 専門家の計画では、専門家の任期中に、ノリ養殖用の 織体験
 による 種苗生産を確立させることになっている。

ノリ養殖 隊員の業務は、JICA 専門家が現在おこなっている仕事と関連した
 事を行おうことになっている。

1. 隊員の業務上の地位;
2. 技術の範囲; ノリの養殖 海藻の生態調査
3. 業務の形態;
4. カウンターパート; JICA 専門家の着任に伴って、新しく配属された。男、フィリピン
 大学水産学部卒、22才。現在は臨時職員だが、近いうちに正職員になる予定。
5. 利用できる機材; 水産局にはない。JICA 専門家の携行機材を使用することになる。
6. 専門家の配置状況; JICA ノリ養殖専門家が 1981年8月より 1年間の任期で派遣されている。
7. 使用する言語; 英語 (書類はすべて英語で書かれる。) ノロカノ語 (人々が
 話している言葉。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

水産資源局の上部と JICA 専門家を要請して NEEDA のノリ養殖に
 対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学 増殖学科卒 又は 漁家で 実際にはノリ養殖の経験を持つ
 高校卒程度の者が望ましい。取得資格については特になし。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 3月 5日

182 養 殖

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ハンガリー	(現地公用語) Fish Culture	(男) 1 人	訓練開始 57年 10月
	(日本語) 182 養殖	(女) 人	派遣予定 58年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Fisheries, Ministry of Fisheries and Livestock
(日本語): 畜水産省 水産局

ロ. 隊員勤務先名称: Natov Fish Seed Multiplication Farm 日本語名称 (ナトール稚魚増殖場)
所在地: Natov, Rajshahi 主要都市からの距離 (ダッカより200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 全国25カ所にあり稚魚増殖場の一つ。インドゴイ等の稚魚販売をしていす。取組は 場長以下6名。

ニ. 設備概要: 蓄水池 50m x 40m 2面, 50m x 30m 6面, コンクリート池 2.75m x 1.8m x 0.6m 20面
湧水試式3ヶ槽 6連 (18ポット) 屋根付稚魚池 (コンクリート) 7m x 1.4m x 1.2m 3面, 7m x 2.8m x 1.2m 1面

(2) 隊員の業務内容: 本年7月よりスタートする UNICEF と JICA のプロジェクトの他、ナトールより 50km 離れた インドゴイ 稚魚増殖場での指導にもあたす。水質管理から給餌、採卵まで 全之に渡る。中心は インドゴイ のホルモン注射。

1) 業務上の地位: 場長と同格程度

2) 技術の範囲: 種苗生産及び養殖技術普及 (に際する浅く幅広い知識)
当面は インドゴイ のホルモン注射による種苗生産法の確立、養殖飼料製作等が課題とす。

3) 業務の形態: 場内での指導、農村巡回指導、UNICEF プロジェクトスタート時には生徒への講義、実習指導も含まれてくる。

4) 対象者及びカウンスラー: カウンスラーは農場長 対象者は農民、UNICEF プロジェクトでは無取組の農村青年。

5) 現地で利用できる機材: 顕微鏡、百葉箱、網生簀、施設は上記の他、ポンプ、小屋、倉庫等

6) 取組における外国人: 我々、同じ増殖場の他の地には JICA 隊員がそれぞれ 3人いる。

7) 使用言語: ベンガール語 専ら用語は英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧増産計画のため、池、河川が多い当国において養殖は大きな意味をもっており、UNICEF と JICA の共同プロジェクトによる養殖場整備、それによる稚魚供給の飛躍的増大が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

ホルモン注射による種苗生産技術があること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表



182 養 殖

記入昭和 55年 3月 4日

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) シリア アルアスマルク	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 General Establishment for Fisheries

1. 配属先名称 (現地公用語): アルモアサ アルマ エルアスマルク
(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Thoura Fisheries Laboratory 日本語名称 (サウラ水産試験場)
所在地: サウラ 主要都市からの距離 (アムスより140キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 640 km²のアサド湖の水産利用を調査しており、
に引き続き西ドイツの援助で Limnology を研究している。アサド湖では現在漁業が行われておられるが、その水産利用の1環として1978年度より網生養魚による鯉養魚二. 設備概要: 池が始められた。1980年に 4m x 4m x 2m の網生養魚を 50 面用い、本格的な養魚が始まる予定である。

(2) 隊員の業務内容:

① 網生養魚による養魚の技術指導を行なう。
② 網生養魚による養魚一般 網の設定、放養尾数の決定、給餌管理、魚病のコントロール

③ 通常 8.00 A.M. ~ 2.30 P.M. 全曜日。シリア祝祭日は休み。

④ '78年度に網生養魚が始まり、シリア人の対象者はほとんど網生養魚を知らない。農学部長のカウンターパートがいる。

⑤ ⑥ 西ドイツ人専門家数名が5年間に渡り、アサド湖での水産開発の為、技術援助を行ってきた。1980年3月にて契約が切れ彼らは帰国する。機材は西ドイツの援助により、相当、当水試に入れている。一応、日本の一般的水試に匹敵する備品が利用可能である。

⑦ アラビア語 と 英語

アラビア語、ニジマスの網生養魚飼育も可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西ドイツ人が行ってきた、網生養魚での鯉試験から本格的な養魚事業を始める段階にて、外国人専門家が必要とされている。水産公団はアサド湖での網生養魚鯉を成功させて、この方法を他の湖。(ホムス湖、ラスタンダム)にても利用する事をおぼろげにしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○網生養魚鯉の実務経験を積んだ人 ○大学卒業程度

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入 昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) FISH CULTURE	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Domasi Fish Farm 日本語名称 (ドマシ養殖場)
所在地: ドマシ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: (ニジマス養魚場) 池は6面: 稚魚池又 養成池又 親魚池 / の約 300m².

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

Zemba 山上の森林局に属するニジマス養魚場 (標高約 1500m) にて
森林局の Trout guard、水産局のテクニカル アシスタント としてニジマスの日常管理
飼育・飼料開発試験と養殖専門家の指示に従って行なう。
現在、マラウイ湖産 マッエミールを主原料としたモイスト・ペレットの給餌試
験を行なっている。

専門家: JICA 派遣専門家

使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

金山弘文 隊員の交替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒以上
- ② 実務経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 15日

182 養 殖

調査者氏名 倉松明男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
トカ王国	(現地公用語) Marine biologist	(男) / 人	訓練開始 57年 3月
	(日本語) 海洋生物学者	(女) 人	派遣予定 57年 6月
		(どちらでも可) 人	受入期限57年9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
(日本語): 農林水産省

□. 隊員勤務先名称: 水産局 11号-4セクター 日本語名称 ()
所在地: マカオ 7-7 主要都市からの距離 (市内より35キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

漁業部 270船 / カボ船 / 金釣船 / カボ幼子
造船部 小型双胴船等建造・11号-4部内 漁業調査全機
ニ. 設備概要: 事務室 / 研究室 2 室内食類 飼育場 室外食類 飼育場
倉庫 冷凍庫 製氷機

(2) 隊員の業務内容:

水産漁業部に主に海洋調査の主任仕事
現在行っているのは 真珠貝 飼育試験、海洋魚礁効果
試験、ラングーと環境調査等である。
① 11号-4 マカオと同様
② 現場作業 (漁業等) の研究等
③ 海上作業
④ 高校卒業程度 普通高校以下から研究科の学生、カボハト社
⑤ コンクリカー、潜水器材一組、船外機等
⑥ 11号-8 部長英国人 トニー・ホフソン
⑦ 英語 トカ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

独自の研究調査を行えるので、立派な人材を求む

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① スクーバ潜水 (トカに教えられる者良し) 水の運搬、魚種名をラテ語で知ること
② 基礎的の海洋調査にてデータを作り小文か白英文で書ける事
③ 海洋に関して中程度の知識を有している事
④ 大卒生 ⑤ 潜水士 科免許 ⑥ 25-35年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 15日

19901 農林統計

調査者氏名 平川 謙 勝 彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Statistic & Economic Planning Dept. Min. of Agric*
 (日本語): 農業省 統計・経済計画局

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()
 所在地: ACCRA 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

DIRECTOR (Dr Yiador ATTA-KONAOU) の指揮下に 約 15% の
 Economist による 3年度 5折に達する 農業開発計画の 実行精進
 二. 設備概要: 5行っている。

(2) 隊員の業務内容:

- 3年度にわたる 農業開発 Project の feasibility study に必要な 農業経済統計 を行う。
- 上記の指揮は DIRECTOR によるが、現地の 資料収集 などの 業務は 主に 隊員に 任せ、 forecasting methodology の 調査 統計 に 関する 分析 現地 等と 合わせて 総合的 経済統計 資料 に 従事する。
- DIRECTOR は 経済学 20年の Economist であり、 理論的 知識 と 能力 が 高い。 その 指導下 に おかれて、 業務は 遂行し得る。
- Report 等を 送って 其の 力を 要す。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

修士 卒以上
 経験 1~2年
 英語 に 堪能

← 経済 学部 卒 可 →